

**製品名: NDUFA4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14498**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	9kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NDUFA4
別名	NDUFA4; NADH dehydrogenase [ubiquinone] 1 alpha subcomplex subunit 4; Complex I-MLRQ; CI-MLRQ; NADH-ubiquinone oxidoreductase MLRQ subunit
遺伝子 ID	4697.0
SwissProt ID	O00483
免疫原	抗血清はヒト NDUFA4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 32-81

**背景**

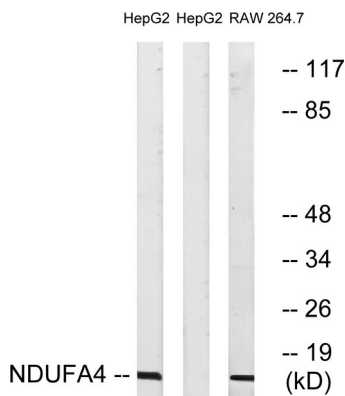
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、複合体 I 9kDa サブユニットファミリーに属します。哺乳類のミトコンドリア呼吸鎖

複合体Iは、45の異なるサブユニットから構成されています。このタンパク質は、NADH脱水素酵素活性と酸化還元酵素活性を有し、NADHから呼吸鎖へ電子を伝達します。この酵素の直接電子受容体はユビキノンであると考えられています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能：ミトコンドリア膜呼吸鎖NADH脱水素酵素（複合体I）の補助サブユニットであり、触媒作用には関与していないと考えられています。複合体Iは、NADHから呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接電子受容体はユビキノンであると考えられています。、類似性：複合体I NDUFA4サブユニットファミリーに属します。、サブユニット：哺乳類の複合体Iは、45の異なるサブユニットから構成されています。、

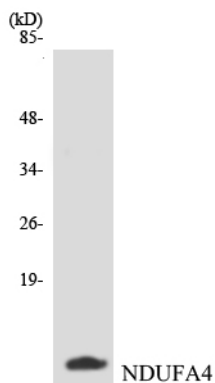
## 研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

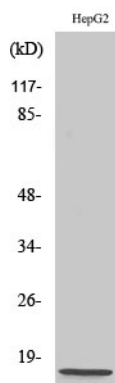
## 画像データ



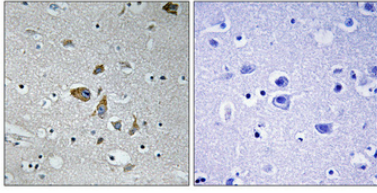
NDUFA4抗体を用いたHepG2細胞およびRAW264.7細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



NDUFA4抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NDUFA4ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。